

湧別の子どもを伸ばす

家庭学習の手引き



～自ら学び考え、進んで伝え合う子どもを育てるために～

4 年生用

前期課程の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校で児童の学力向上に取り組んで参りますが、同時にご家庭でもしっかりとした学習習慣を身に付けられるよう、連携とご指導を頂くことにより、学習内容がより確かに習得され、活用力が伸びるものと考えています。

この度、本校児童の学力や学習の実態を踏まえ、全教職員で話し合い、「家庭学習の手引き」を作成致しました。

ぜひお子様と一緒にご覧頂き、家庭学習の手助けとしてご活用頂きますようお願い申し上げます。

2025年 4月

湧別町立ゆうべつ学園

校長 若松 征一

湧別町立ゆうべつ学園(前期課程)

家庭学習の手引き

～はじめに～

家での勉強（家庭学習）は、とても大切です。それは、学校で勉強したことをしっかりと身につけるために、何回もくりかえし練習することが必要だからです。時間をきちんと決めて、毎日、じっくりと家でのべんきょう（家庭学習）に取り組みましょう。

■ 学習のきまり

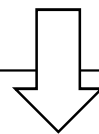
- 決まった時こくになったら机に向かいましょう。
- つくえの上には学習用具だけ置きましょう。
- 字はていねいに正しく書きましょう。
- 「ながら勉強」をしないようにしましょう。
- 今、学習しているところの漢字と計算は、少しずつでも毎日復習するようにしましょう。
- わかっていることばかりするのではなく、苦手なところにもどんだんちょうせんするようにしましょう。
- ドリルや問題集は、必ず答え合わせをして、まちがえたところをやり直し、くりかえし練習しましょう。
- わからなかったところは、おうちの人や先生に聞くなどして、かならず確かめましょう。
- おわったら、おうちの人に見てもらうようにしましょう。

■ 学習の時間

- 曜日ごとに学習を始める時こくをきめましょう。
できるだけ夕食前にするようにしましょう。
見たいテレビや習い事のことと考えて決めましょう。
- 1・2年生は、宿題が中心となり、学年が上がるにつれて、自主学習（自学）にちょうせんしていきましょう。
- 1日どのくらい学習するか、次のページの表を参考にして決めましょう。

まず、「学年 × 10分 + 10分」
から始めましょう！！

『+ 10分』は、家で読書をする時の目安です。

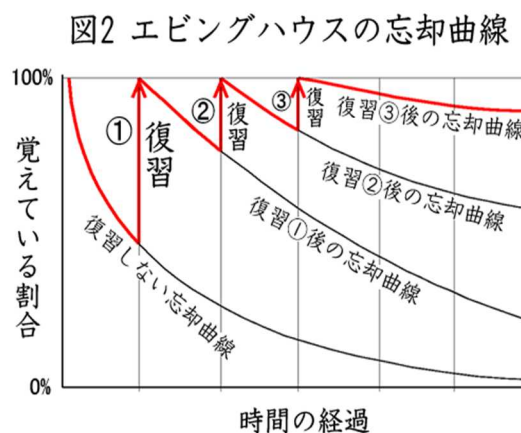
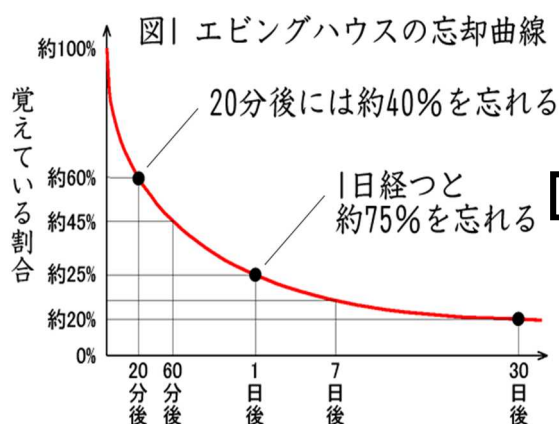


学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
目標時間	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上

わたしの学習時間は

_____ 分以上
_____ 時 _____ 分から始めます

○保護者のみなさんへ



エビングハウスの研究成果「忘却曲線」という図から、驚くべきことが分かります。それは、授業で 100%学んだことも、20分経過すると約40%忘れてしまうということです。さらに1日経つと約75%を忘れてしまうことが明らかとなっています。つまり、家庭学習を行わないと、学力がどんどん低下していくということです。

しかし、家庭学習で復習を何度も繰り返すと、この忘却曲線が図2のように変化します。例え忘れてしまったとしても、100%に戻りやすくなっていきます。学力定着のために、学校でも宿題直しを行ったり、学んだ力を生かす場を設定したりしていきます。保護者の皆様にもお家で子供たちの様子を見て、家庭学習をするよう声をかけて取り組むようにしていただけたら嬉しいです。

家庭学習のつぼ！

学習時間のめやす

50分以上

毎日宿題をふくめて4年生は50分以上学習をする。
時間を決めて、集中して勉強する。
テレビを見ながら勉強はしない。
自分でまるつけをし、まちがいをすぐ直す。
学習が終わったら、次の日の時間割を調べ、鉛筆を削るなど持ち物の準備をする。

学習の流れ

1

授業をしっかり受けよう

～毎日、自分の考えを伝えたり、友達の考えをしっかり聴いたりしよう～

2

宿題をしよう

～分からないところは、お家の人や先生に教えてもらいましょう～

3

自主学習に挑戦しよう

～早く終わった人は、右のような学習をしてみよう～

4

間違えた問題に再挑戦しよう

～前の日に間違えた問題や、宿題で間違えた問題を、もう一度考えてみよう～

【国語】

○教科書を読む

- ・今学習しているところを読む。
- ・これから学習するところを読む。
- ・わからない漢字にふりがなをつける。

○漢字の練習をする

- ・ノートにおくりがなをつけて練習する。
- ・いろいろな熟語にして練習する。
- ・ならった漢字を使って文を作る。
- ・テストなどでまちがえた漢字を練習する。
- ・部首や画数を調べてみる。

○意味調べをする

- ・教科書を読んでわからない言葉の意味を調べ、ノートに書く。
- ・その言葉を使って、文を作ってみる。

○ししやをする

- ・教科書の文をノートに書きうつす。
「、」や「。」やだんらく・かぎかっこに気をつけて書きます。

○日記を書く

- ・日づけ（○月 日）を書きます。
- ・できごとや気持ちを書きます。
- ・習った漢字を使いましょう。

○読書をする

- ・いろいろな本を読みます。

家族のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気がアップします！！



【算数】

○ふく習をする

- ・学校で学習した問題をもう一度やってみます。
（ノートを見て答え合わせをします）

○計算をする

- ・ドリルやプリントをつかって計算練習をします。